

# 泉の森 なんでも情報館

2014年 夏号(No.14)

発行 しらかしのいえボランティア協議会  
エリアマップ作成班

クローズアップエリア  
国道246号線北側

緑濃い森が天然のクーラーとなり、真夏の暑い盛りでも涼しさが感じられるエリアです。夏休みになったら、お子さんやお孫さん、遊びに来た親戚の子供たちも誘って、森に出かけてみましょう。自由研究のテーマがあちこちに隠れていますよ！



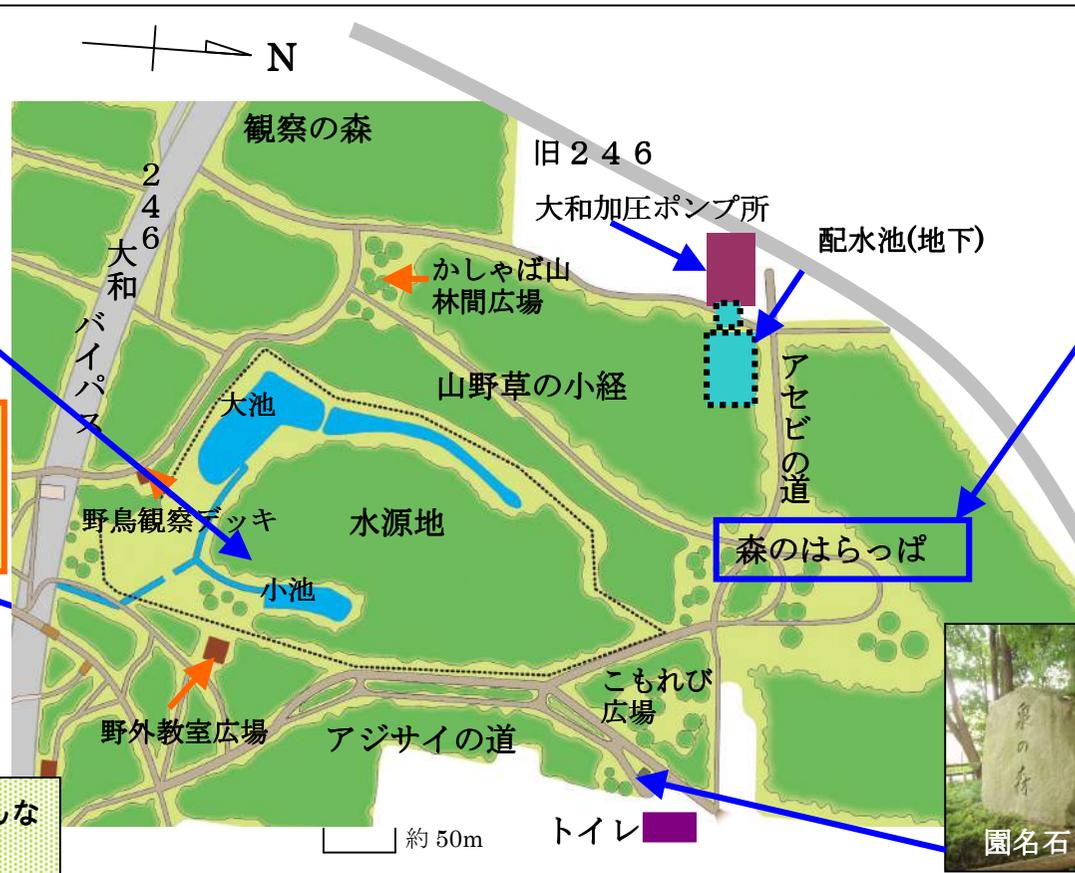
日本一大きなサギに会えるかな？  
→4ページ



至  
しらかし  
のいえ

旧石器時代の人々も泉の森がお気に入り？ →2ページ

夏の終わり、カラスの頭がたいへんなことに！？ →4ページ



泉の森にはスギの木があちこちにありますが、森のはらっぱはヒノキ林、こもれび広場にはサワラの木が目立ちます。針葉樹と林の有り様について、考えてみましょう。 → 3ページ



園名石

至 鶴間駅

# 泉の森は旧石器時代のキャンプ場！

## 旧石器時代の遺物がザクザク

泉の森の北西部に神奈川県企業庁水道局の配水池があるのをご存知ですか。2万トンの飲料水を緊急時に備えて地下に貯蔵しています。その建設工事の際に、石器や礫群など旧石器時代の遺物が約2万点も出土したのです。1997年～1998年のことです。遺物の年代は様々ですが最も古いものは今から3万年以上前のものです。しかも多くの地層から遺物が発見されており、長い間、旧石器人がこのあたりをテリトリーにしていたことが分かります。この近くには縄文人の住居址も発見されているので、泉の森にはなにか古代人を惹きつけるものがあったのでしょう。

## 大和は旧石器時代の遺跡の宝庫

大和市が位置する相模野台地は、神奈川県の中でも旧石器時代の遺跡が特に多いところ。大和市には引地川上流域だけでなく月見野遺跡群という考古学では大変有名な遺跡があります。つきみ野の宅地造成工事の際、1968年～1969年に明治大学による発掘調査が行われ、膨大な数の遺物と多くの遺跡が発見されました。この大規模な遺跡群の発見により、日本の旧石器時代の研究が一変したので考古学の世界では、「月見野・野川以前と以後」という言葉があるくらいで、月見野遺跡群はその価値を高く評価されています。

## 旧石器時代の遺跡の立地条件は

月見野遺跡群は境川の支流である目黒川に沿った台地上に遺跡が数多く発見されています。現在、県立大和高校から目黒川に向かって少し下ったところに遺跡の掲示板がありますが、遺跡は川に向かって張り出した台地の上に点在しています。水辺が近く、水を飲みに来る動物たちがよく見える見晴らしの良い台地の上が、狩りにも住むにも最も好都合だったからでしょう。

## 旧石器人は

旧石器時代は氷河期にあたり、大和周辺も現在より年平均気温で7～8度低く、北海道の十勝地方と同じくらいの気候でした。今より乾燥していて、トウヒ属等の針葉樹やコナラ属等の広葉樹が混ざる針広混交林で、ササなどが下草として茂って

いたようです。人は野牛やナウマンゾウ、ヘラジカなどの大型動物を対象に集団で石槍や落とし穴を使った狩猟を行っていたほか、木の実など植物の採集をしていました。定住はせず、短いサイクルで住む場所を変えていました。住む家は獣皮などを使ったテントでキャンプしていたのではないかと推定されています。キャンプの場所に求められた条件は①水場が近い②見晴らしが良く獲物をよく監視できる③日当たりがよく水はけが良いなどで、月見野遺跡群はその条件どおりのところ。そして泉の森の水源地周辺もまた同じように条件が揃っていました。

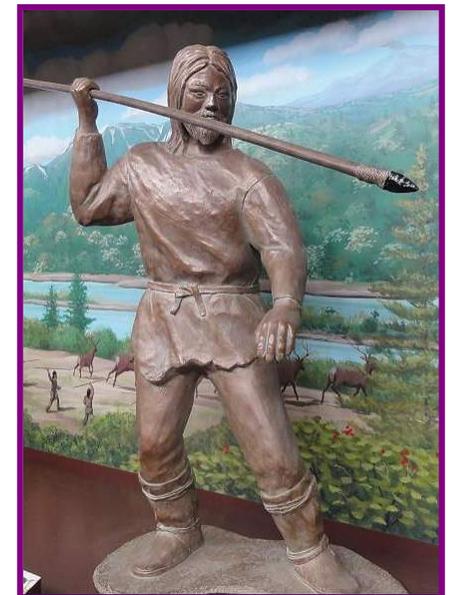
## 泉の森は昔も今も人気のキャンプ場

現在の配水池は水源地の西側の小高い丘の上にあります。水場までは丘を下ればすぐですし、大雨のときも水害の心配はありません。また、東向きの朝日がよくあたる日当たりのよい場所でもあります。今は樹木が茂って見晴らしがよいとは言えませんが寒冷な時代は違っていたでしょう。

だから、泉の森の水源地周辺は旧石器人にとっては格好のキャンプ場だったのです。現在は獲物を追う必要はないし、水も簡単に手に入ります。でも、泉の森にはキャンプ場があり、多くの市民が集まって楽しんでいます。泉の森は数万年前の昔も今も人気のキャンプ場なのですね。（橋本幸夫）

参考文献：「大和市史ダイジェスト版」「旧石器文化・縄文草創期文化の上に形成された大和市」  
矢島國雄・鈴木次郎・和田薫

右の写真および1ページの写真：「相模原市立史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館」（愛称「旧石器ハテナ館」）にあるジオラマより



# 泉の森の木のものごたがり(1)スギ・ヒノキ・サワラ

アセビの道からこもれび広場の方に歩くと、まず道の右側はスギが立ち並び、一方、道の左、森のはらっぱにはヒノキの林、そしてこもれび広場には、サワラの木が目立ちます(図1)。そうです、このエリアで泉の森の針葉樹を見比べることができるのです。

## 1. スギ(杉)ヒノキ(檜)サワラ(樺)の違い

図2上に示したように、スギの葉は針状になっていて、区別が容易です。ヒノキとサワラの葉は似てますが、葉裏の白い模様(気孔線)がY字なのがヒノキで、X字がサワラです

(因みに、同じヒノキ科に属するアスナロ<別名ヒバ>はW字とのこと)。

樹皮については、図2下に示したように、ヒノキの樹皮は、スギ・サワラに較べて縦にやや粗く裂け、裂け幅が広がっています。栓皮茸(ヒワダブキ)として使われる所以ですね。

以上、スギは葉で見分け、ヒノキ状の葉なら、樹皮でヒノキを区別し、スギの葉でもなくヒノキの樹皮でもないなら、サワラとする、くらいが簡便な見分け方かもしれません。このほかにも実(毬果)の違いや葉先の違いなどがあり、自分で観察するといろいろな発見があって面白いですよ。

## 2. 木材としての違い

スギ・ヒノキは全国の植林面積がそれぞれ1位・2位。建築材等としてなくてはならないものです。特にヒノキは世界を通じて最も優れた木材の一つと言われ、保存性・加工性等、極めて良好です。



図1. 森のはらっぱ、こもれび広場付近の針葉樹の分布



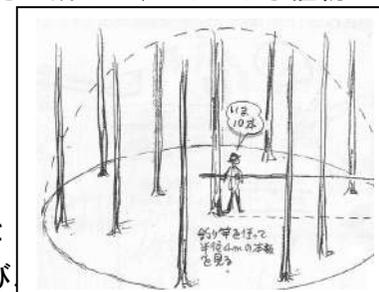
図2. 葉と樹皮: 左からスギ・ヒノキ・サワラ(ヒノキ・サワラは葉の裏側) “樹皮ハンドブック” 林 将之著より

木の香りに注目すると、スギは特有の芳香を持ち、杉樽に貯蔵して日本酒に香りをつける用途にも使われます。ヒノキは、檜風呂に使われるように、香りが強く、ヒノキチオールと命名される精油成分が保存性を高めています。しかし、ヒノキチオールがもっと含まれているのはヒバであり、特に青森ヒバが含有量が多く、カビや雑菌に対し驚異的抗菌力を持つといわれています。一方、サワラはスギ・ヒノキのような香りがなく、水分・湿気にも強いいため、米びつや柄杓、桶などに用いられるとのこと…木の性質を理解してうまく使い分けられているものですね。

## 3. 森のかたち

さて、森のはらっぱの散歩道をぐるぐる廻って、気が付いたことがあります。入り口近くのスギ林は、細い木が林立して全体に薄暗く、地表面(林床)は一面、ドクダミの花が咲いていました。奥の方に行くと、一部伐採されて明るい所があり、そこにはキツリフネの花がちらほら見えており、明るい所ほど、いろいろな植物が生えているように思われます。

そこで、薄暗い所のスギの生育密度を調べることにしました。泉の森自然観察センターしらかしのいえでは、ボランティア向けに森の間伐について講習会を行っており、そのテキストと較べてみようと思ったのです。林の中の平均的太さの木を2本選び、その木から半径4mの円内の本数を数えたところ、それぞれ7本、6本でした。選んだ木の、胸高さの直径は35cm、36cmでしたので、図3の表のとおり、これらの木の円内本数は2本が適正と思われます。



胸高直径	14cm	18cm	24cm	30cm	35cm	44cm
円内本数	10本	6本	4本	3本	2本	1本

図3. 生育密度の測り方と残す本数の目安(強度間伐) “新・間伐マニュアル 未来樹2001編より

## 4. 皆で考えましょう

泉の森の国道246号の北側は、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区に指定されており、なるべく自然をそのままのかたちで残すことになっているのかもしれませんが、森は適当な間伐を行い、林床にも陽が当たることによって、下草も生え、あるいは針葉樹の中に広葉樹も育ってきて、いろいろな昆虫そして野鳥もやってくるようになり、豊かな森になります。しらかしのいえでも公園内の森の間伐について、いろいろ検討しているそうです。私達の大事な公園をどんなかたちで後世に残していくのか、いっしょに考えていきませんか?(伊藤 健一)

## アオサギ (コウノトリ目サギ科)

アオサギは日本のサギ 19 種の内、最も大きいと言われているサギです(体長 93cm、広げた時の翼の長さ 161cm)。泉の森でも良く見られる鳥です。全身青みが勝った灰色の体が「しらかしの池」の芦の間から、のそっと出てくるのを見たことはありませんか。頭は白く、額の両側から目の上を通り後頭部でつながる黒い部分があり、後頭の羽毛は冠羽になっています。灰色の首は長く、顎の下から胸にかけて数本の縦線があります。アオサギがその首をたたんでゆったりと飛ぶ姿はとても優雅に見えます。サギの仲間は首をたたみますが、ツルの仲間は首を伸ばして飛翔します。観察デッキで池を上から見ているときに目の前を「クアー、クアー」と飛びながら鳴くのを見ているいませんか。飛び立つ時や飛翔中にはこの声と濁った声の「グアー」が聞かれます。食事(採餌)は池の杭の上で、待ち伏せをして、下を通る魚を捕まえる方法を、また、長い嘴を使い、大きな魚を捕まえ呑み込めなくて、見ていて手伝ってやりたいと思った人もいたと聞きました。池の向こうの大きな樹木に夏になると「クズ」が天辺まで育ち、塊になっている部分に食事を終えたアオサギが休憩に佇んでいたことがあります。この間まで、水源地の中にはアオサギが樹木の天辺で休んでいるのをあまり見られなかったように思いましたが、記録を見ると十数年ほど前は、水源地の中の方がアオサギの個体数が多かったとのこと。その頃はコサギなども今よりはいたように思われます。ここ数年アオサギの数も少なくなっているように思います。



自然観察センター「しらかしのいえ」には「泉の森」で衰弱死したアオサギのはく製も展示されています。近くではなかなか見られないアオサギをじっくり観察してみたいかどうか？ みなさまの来られることをお待ちしております。(藤井和子)

## 年に一度のリフレッシュ！ ちょっと、うらやましい？…鳥の換羽(かんう)

髪をとかした後のブラシを見てドキッ！ シャンプー後の排水口を見てガクッ！ 抜けるたびに不安になったり落胆したり、髪の毛の悩みは尽きません。抜けても抜けてもまた生えてくれば、そんなに悩まないのに…

鳥は 1 年に 1 回、夏から秋にかけて、全身の羽が抜けて新しい羽に生え換わります(注1)。これを換羽といいます。抜けても全部生えてくるなんて、うらやましいですね。ところが換羽は、鳥にとってはかなり辛い試練のようです。夏の初め、子育ての疲れが癒えるまもなく、換羽が始まります。ただ羽が抜けるだけではなく、新しい羽を自分の体で作るのですから、かなりの体力を消耗します。羽の材料となるタンパク質はもちろん、自分で探す食べ物から補給しなくてはなりません。おりしも暑さが最もきびしい季節。怪我や病気で動物病院に保護された鳥の中には、回復期に換羽が重なったため体力の消耗に耐えられず、命を落とすものがけっこういるそうです…もし、鳥の世界にテレビがあっても、『ためしてガッテン！』みたいな番組があったら、きっとこんな特集が組まれるでしょう…「これで大丈夫、今年の換羽！ 体力がつく食べ物スペシャル！」

換羽の時期には鳥は飛べなくなるのでしょうか？ 多くの場合、羽は少しずつ抜けてゆきますので、飛べなくなることはありません(注2)。それでも体力の消耗を防ぐため、鳥たちは少しでも安全なところに身を潜めていることが多くなります。夏場は鳥の姿を見かけなくなりますが、その原因の一つがおそらく、これだと思われま。

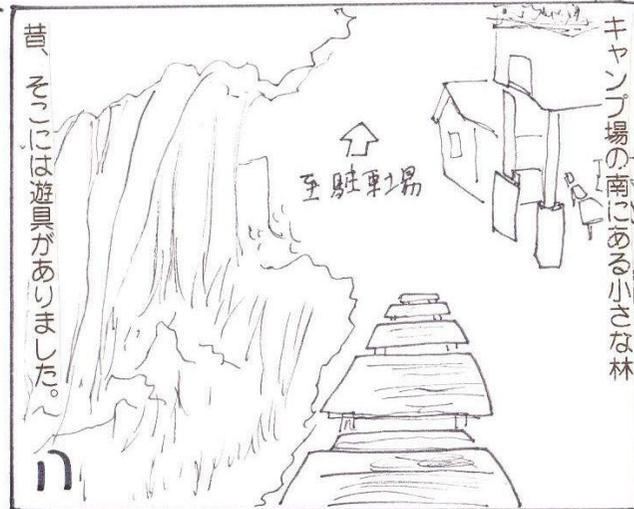
カラスは換羽の時期でも飛びまわっていますので、その様子が観察できます。最初に翼や尾羽など大きな羽が生え換わります。夏の終わりには頭や顔の羽が抜け始め、まるでハゲワシのような顔つきになります。散歩の時に探してみてください。一度見たら「アラやだ！ ウチのお父さんそっくり！」「何を言う！ オレの方がちょっとマシだ！」などと、親近感を持つかもしれませんよ。でも、カラスたちはまもなく、黒々としたフレッシュな羽を身にまといまわります…やっぱり、ちょっと、うらやましいですね。(小林みどり)

注1: 全身の換羽に加えて、繁殖期の前に一部の羽が生え換わる種類もあります。

注2: 例外はカモの仲間。飛ぶために必要な羽が一度に抜けてしまうので、一時期まったく飛べなくなります。

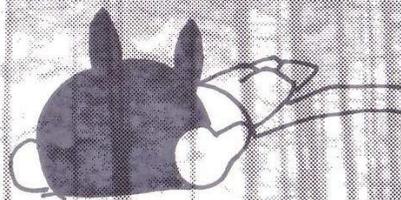
なんでも休み時間⑨ 今は無き遊具

(中小田美希)



昔、そこには遊具がありました。

そもそも幼稚園に入る前から来ていたこの森で、木の根に転んだり落葉で泥だらけになつたり

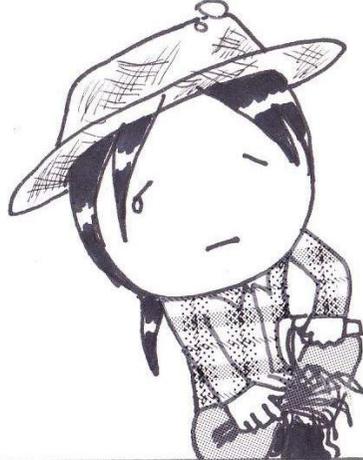


森にあるもの一つ一つが宝物そんな子供でした。



3)

あの時の遊具はもうないけれど、わたしは今でも森に留めています。



5)

そんな昔の経験が、森の思い出が確かに今活動しているわたしを作っているのだ

センターが出来た頃でした。よく森に来ては、祖父のカメラで森の風景を残しました



4)

しばらくは森からも離れたものの戻るのは早く「植物といえば花」だったものが、緑の美しさを目覚めたのは中学生の頃。



小さいときは、そこが森での唯一の遊具でした。

黄色だったか赤だったかで前後に動くか半円を描くかで、それこそホントに

2)

なんでも休み時間⑩ C キャンプ級グルメ

(中・小田美希)

③窯焼きピザ  
ドラム缶の底で火を焚いて、その熱でピザ。ここからも定番のセンターの企画。

オヤ、い、はい、なる

2人分サイズのケーキくらいのピザですが、トッピングにこだわると1枚でいっぱい！

3)

①カレー  
キャンプの定番メニュー。人によって味も変わります。

カレーは小まめにコトコト

カレーはミキッ

キャンプ場ではバーベキューに次いで定番。雑炊やキャベツスープ等ももちろん可能。自宅と違いヒーターはないので、火の管理が必要です。

1)

④流しそつめん  
活動の後、今日やるからと流しそつめんを行いました。

粗いどろろ

流れてくるそつめんもいろいろとこは子供達に譲ってあげて、大人は下のザルにたまった大量のそつめん野菜を頂きましょ。

4)

②バウムクーヘン  
最近では、センターの企画としてお馴染みになってます。掌ほどもある太い竹にバウムクーヘンの種を流し、

はあ、いへ

竹を回しながら均一に火を通し、焼けたらまた流す...  
伝いに出来ました、サクふわの美味しいバウムクーヘンが出来ました。

2)